

## 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果（速報・第 85 報）

「浜岡原子力発電所の安全確保等に関する協定（以下「4市協定」という。）」に基づき、発電所から半径 10km 圏内で実施している発電所周辺の環境放射能調査についてお知らせします。

平成 30 年 2 月 28 日付けの前の報告以降、下記の測定項目の一部において過去の変動幅（特に断りのない限り、東京電力㈱福島第一原子力発電所の事故（以下「東電事故」という。）発生前の過去 10 年の最小値と最大値の範囲）の上限を超過しましたが、浜岡原子力発電所の影響ではなく、調査の結果、東電事故の影響が原因であると推定しました。

なお、東電事故以降平成 28 年度までの間の最小値と最大値の幅である「震災後の変動幅」を併記した項目があります。

## 記

## 1 測定結果（表中の括弧内の数値は検出下限値を表す）

## (1) 浮遊塵（採取期間：2018/2/1～2018/2/28）

表 1

単位：mBq/m<sup>3</sup>

採取地点	測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be(参考)
御前崎市 白砂	監視センター	検出されず (0.0094)	0.011±0.003 (0.0076)	6.9±0.1 (0.35)
御前崎市 中町	中部電力㈱	検出されず (0.010)	検出されず (0.0085)	5.14±0.09 (0.26)
御前崎市 平場	監視センター	検出されず (0.0097)	検出されず (0.0094)	6.9±0.1 (0.33)
牧之原市 地頭方小学校	中部電力㈱	検出されず (0.011)	検出されず (0.0073)	5.64±0.09 (0.27)
平常の変動幅 <sup>※1</sup>		検出されず	検出されず	
震災後の変動幅		検出されず～ 7.78	検出されず～ 8.21	(自然放射性核種)

※1 平成 14～22 年度の測定値の最小～最大の範囲である。

## (2) 降下物（採取期間：2018/2/1～2018/2/28、採取地点：御前崎市池新田）

表 2 - 1

単位：Bq/m<sup>2</sup>

測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>40</sup> K	<sup>7</sup> Be(参考)
監視センター	検出されず (0.057)	0.12±0.02 (0.060)	2.1±0.2 (0.65)	100.8±0.9 (2.7)
中部電力㈱	検出されず (0.062)	0.096±0.016 (0.047)	1.5±0.2 (0.71)	101.5±0.9 (2.7)
過去の変動幅	検出されず	検出されず～0.12	(自然放射性核種)	
震災後の変動幅	検出されず～617	検出されず～611		

<参考 1 >

原子力規制庁委託の環境放射能水準調査の降下物

(採取期間：2018/2/1～2018/2/28、採取地点：静岡市葵区)

表 2 - 2

単位：Bq/m<sup>2</sup>

測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>40</sup> K	<sup>7</sup> Be(参考)
監視センター	検出されず (0.062)	0.065±0.012 (0.036)	検出されず (1.3)	70±0.58 (1.7)

(3) 海底土 (発電所周辺海域、2/8 採取)

表 3 - 1 (御前崎港以外の採取地点\*)

単位：Bq/kg 乾土

採取場所	測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>40</sup> K
周辺海域 (9 地点)	監視センター	検出されず (0.61～0.81)	検出されず (0.66～0.82)	560～670 (32～34)
	中部電力(株)	検出されず (0.73～0.96)	1.0±0.2 (0.50～0.69)	557～675 (25～29)
過去の変動幅		検出されず	検出されず～ 1.2	(自然放射性核種)
震災後の変動幅		検出されず～ 0.47	検出されず～ 1.1	

※ 菊川河口、高松沖、尾高漁場、中根礁、浅根漁場、1, 2号機放水口付近、取水口付近、3号機及び4号機放水口付近、5号機放水口付近の計9地点です。

表 3 - 2 (御前崎港\*)

単位：Bq/kg 乾土

採取場所	測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>40</sup> K
御前崎港	監視センター	検出されず (0.81)	2.0±0.3 (0.85)	710±10 (37)
	中部電力(株)	検出されず (1.2)	2.3±0.3 (0.90)	700±10 (35)
過去の変動幅		検出されず	検出されず～ 2.7	(自然放射性核種)
震災後の変動幅		検出されず～ 1.6	1.3～3.1	

※ 御前崎港の海底土は、表 3 - 1 の周辺海域 (9 地点) のものと性状が異質であり、放射性核種の蓄積状況が大きく異なることから、過去の変動幅等を別枠として定めています。

(4) キャベツ (御前崎市、2/9 採取)

表 4

単位：Bq/kg 生

採取場所	測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>40</sup> K
御前崎市合戸	監視センター	検出されず (0.014)	検出されず (0.015)	80.0±0.4 (1.3)
	中部電力(株)	検出されず (0.022)	検出されず (0.015)	72.4±0.4 (1.3)
過去の変動幅		検出されず	検出されず	(自然放射性核種)
震災後の変動幅		検出されず～ 0.05	検出されず～ 0.065	

## (5) さざえ（発電所周辺海域、2/26 採取）

表 5

単位：Bq/kg 生

採取場所	測定機関	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{40}\text{K}$
御前崎港	監視センター	検出されず (0.038)	検出されず (0.040)	85.9±0.9 (2.6)
	中部電力(株)	検出されず (0.050)	検出されず (0.041)	80.2±0.8 (2.5)
過去の変動幅		検出されず	検出されず	(自然放射性核種)
震災後の変動幅		検出されず～ 0.11	検出されず～ 0.17	

## (6) はまぐり（発電所周辺海域、2/9 採取）

表 6

単位：Bq/kg 生

採取場所	測定機関	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{40}\text{K}$
御前崎港	監視センター	検出されず (0.035)	検出されず (0.035)	54.7±0.7 (2.2)
	中部電力(株)	検出されず (0.039)	検出されず (0.032)	48.3±0.6 (1.9)
過去の変動幅		検出されず	検出されず	(自然放射性核種)
震災後の変動幅		検出されず～ 0.031	検出されず～ 0.070	

## (7) わかめ（発電所周辺海域、2/26 採取）

表 7

単位：Bq/kg 生

採取場所	測定機関	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{40}\text{K}$
御前崎港	監視センター	検出されず (0.042)	検出されず (0.046)	139±1 (3.3)
	中部電力(株)	検出されず (0.054)	検出されず (0.045)	166±1 (3.4)
過去の変動幅		検出されず	検出されず	(自然放射性核種)
震災後の変動幅		検出されず	検出されず～ 0.045	

## &lt; 参考 2 &gt;

10～31km 圏内環境放射能調査※

(測定機関：静岡県環境放射線監視センター)

※ 4 市協定とは別にバックグラウンドの把握等を目的に県の事業として平成 25 年度から実施しています。なお、「浜岡原子力発電所の周辺市町の安全確保等に関する協定（以下「5 市 2 町協定」という。）」が平成 28 年 7 月 8 日に締結されたため、5 市 2 町地域の測定については 5 市 2 町協定における実施事項でもあります。

(8)積算線量（設置期間：2017/12/21～2018/3/14）

表 8

単位：mGy(90日換算値)

番号	地点	測定値	番号	地点	測定値
1	磐田市大中瀬	0.13	12	菊川市東横地	0.16
2	磐田市大原	0.13	13	菊川市倉沢	0.14
3	袋井市上山梨	0.13	14	島田市金谷代官町	0.17
4	袋井市浅名	0.13	15	島田市中央町	0.14
5	掛川市富部	0.13	16	牧之原市東萩間	0.14
6	掛川市大渕	0.13	17	牧之原市坂部	0.15
7	掛川市上西郷	0.14	18	牧之原市静波	0.15
8	掛川市金城	0.14	19	藤枝市岡出山	0.14
9	掛川市下土方	0.15	20	吉田町川尻	0.14
10	掛川市大坂	0.14	21	焼津市道原	0.14
11	掛川市八坂	0.15	22	焼津市田尻北	0.14

## 2 原因調査

平成 29 年度環境放射能調査結果の評価方法に基づき、上限超過事象に影響を与えると考えられる項目について調査を行いました。

- (1) 測定系及びデータ伝送・処理系の健全性
- (2) 降雨等による自然放射線の変化による影響
- (3) 前処理・測定の妥当性
- (4) 核爆発実験等の影響
- (5) 統計に基づく変動の検討
- (6) その他

## 3 原因の推定

浜岡原子力発電所は、平成 23 年 5 月から運転停止中であること、また、排気筒や放水口モニタ等の測定値にも変化が見られないことから、浜岡原子力発電所からの影響ではないと考えられます。原因を調査した結果、前処理や測定系等に問題は認められず、過去の核爆発実験等の影響に東京電力(株)福島第一原子力発電所から放出された放射性物質の影響が加わったものと考えられます。

4 測定結果の訂正について

平成 29 年 10 月 31 日付、速報・第 80 報に掲載した藤枝市高柳の玄米の  $^{137}\text{Cs}$  と  $^{40}\text{K}$  の測定結果に誤りがありました。下記のとおり訂正します。

(誤)

単位：Bq/kg 生

採取場所	採取日	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{40}\text{K}$
藤枝市 高柳	10月20日	検出されず (0.050)	<u>0.044±0.012</u> <u>(0.035)</u>	<u>66.1±1.0</u> (2.9)

(正)

単位：Bq/kg 生

採取場所	採取日	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{40}\text{K}$
藤枝市 高柳	10月20日	検出されず (0.050)	<u>検出されず</u> <u>(0.051)</u>	<u>66.3±1.0</u> (2.9)